

せせらぎ



令和2年11月19日発行 No.5

日に日に秋が深まり、山々の木々が美しく華やかな季節になりました。来週の持久走大会に向けて、本番のコースを使用した試走練習も始まり、子供たちも最後まであきらめずに頑張っています。

さて、今回は、1年生の算数の授業の様子をお伝えします。駄菓子屋さんでの買い物の場面を想定し、いろいろな問題に挑戦しました。お菓子の値段の違いを計算したり、ドーナツの組み合わせを考えたり、子供たちはこれまでに学習してきたことを活用しながら問題に取り組みました。

校内研究授業 11/17 (火)
1年算数「よみとるちからをのぼそう」
指導者

ねらい「問題文を正しく読み取り、既習を生かして買い物の場面の問題を解決し、説明することができる。」



つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと



お菓子の実物を見せ、興味関心を高め、今日のめあてを考えました。
 めあて
 「(だがしやさんの)えを見て、かいつするにはどうすればよいか」

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



まずは、一人で考えました。



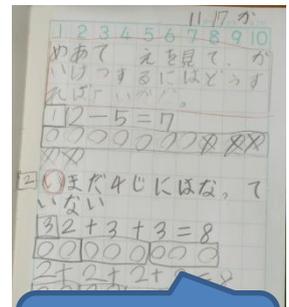
班になって、解き方を相談しました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



班ごとに式や図を使って黒板に書き、クラス全体で、答えを確認しました。



式や図を使って書きました。

児童は、問題文を正しく読み取り、今までの学習を活用して式や図などを使い問題を解くことができました。

授業研究会では、「具体物を使ったり、話し合い活動を入れたり工夫されていた。子供たちも、今までに学習したことを活用しながら問題を解くことができていた。」という意見が出されていました。